

大小判定時間の変更

大小判定時間は、工場出荷時は「120秒」になっています。

※人体を感知している時間が120秒を超えると「大」と判定し、大洗浄の水量（8L）を流します。120秒以内の場合「小」と判定し、小洗浄の水量（6L）を流します。

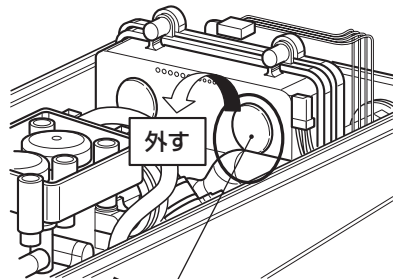
大小判定時間を必要に応じ「90秒」に切り替えができます。

「90秒」に変更する場合は下記の設定を行ってください。

使用工具

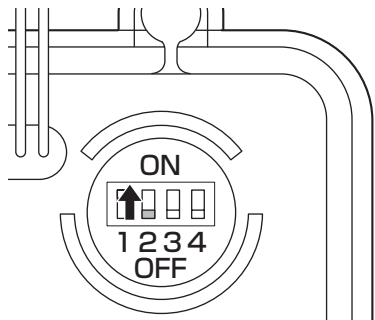


精密ドライバー
(マイナス)



外す

ゴムキャップ



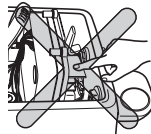
1. タンクふたを外す。
※P.18の『タンクふたの外しかた』を参照してください。
2. コントローラーの右側のゴムキャップを外す。
3. 精密ドライバーなどで「2番」のスイッチを「ON側」に切り替える。
4. ゴムキャップを元に戻し、タンクふたを元に戻す。

警告



接触禁止

通電中は電源端子には絶対に手を触れない



感電するおそれがあります。

- 汚物やトイレットペーパーの量に応じて<大><小>を使い分けてください。
汚物の大きさや量、比重の違いやトイレットペーパーの量によっては、1回の洗浄で完全に流しきれずに残る場合があります。

豆知識



<大>の目安：大便約250gまたはトイレットペーパー（シングル）約10mまで流せます。
<小>の目安：小便とトイレットペーパー（シングル）約3mまで流せます。

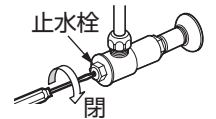
これ以上の汚物やトイレットペーパー（シングル）を流すと便器が詰まるおそれがあります。

- 小便でも使ったあとは必ず水を流してください。

そのまま放置すると、小便の成分と水道水の成分が結びついて固まり、便器の洗浄不良や詰まりの原因となります。

- 長期間留守にするときは、便器洗浄用止水栓を閉めてお出かけください。

※P.18の『緊急時の水の止めかた』を参照してください。
こうしておけば留守中に万一の水漏れも起きず安心です。



- 小さなお子様や、お年寄り、身体の不自由な方が使用されるときは、十分に注意してください。
間違った操作や危ないことをすると故障やけがをするおそれがあります。

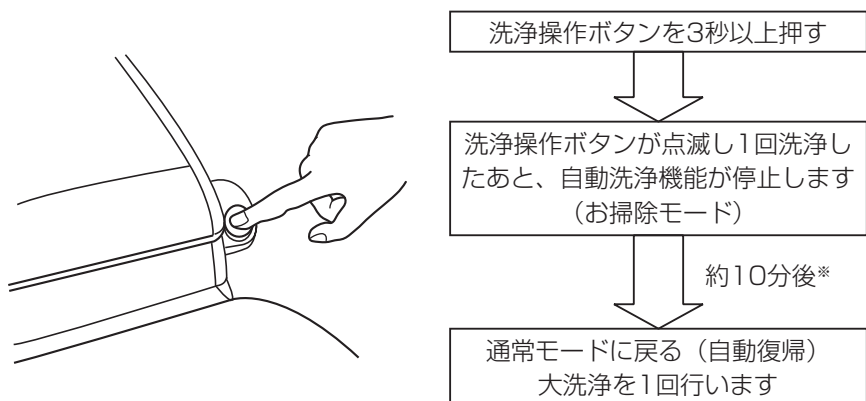
- 落雷の可能性がある場合は、あらかじめ電源プラグを抜いてください。
故障の原因となります。

日ごろのお手入れ

トイレはお手入れ次第で清潔さを保ち、長持ちさせることができます。日ごろからこまめにお手入れをしてください。また、セフィオンテクト品は汚れが付きにくい特長を持っていますが、表面をきれいに保つために、日ごろのお手入れが大切です。

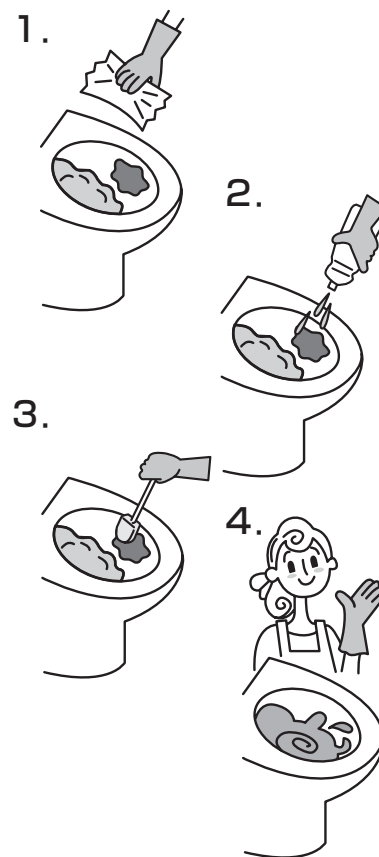
お掃除モードの使いかた

清掃時は「お掃除モード」を利用してください。自動洗浄機能が10分間停止しますので、ムダな洗浄が防止できます。



※お掃除モード中はリコモン洗浄・自動洗浄はできません。お掃除モード中でも、洗浄操作ボタンで1度洗浄すると通常モードに戻ります。

便器のお手入れ



●軽い汚れの場合

掃除用ブラシやスポンジで水洗いしてください。

●水あかなどひどい汚れの場合

1. 汚れがついた部分の水分をふき取ってください。

2. トイレ用洗剤を汚れに直接かけてください。

3. 掃除用ブラシやスポンジで、こすり洗いをしてください。取れにくい場合は割りばしなどを使ってこすり落としてください。

4. 最後に水洗いをしてください。

※洗剤によっては揮発ガスを発生するものがありますので、2~4の項目は早め(3分以内)に行ってください。揮発ガスが温水洗浄便座などの内部に入り、故障の原因になります。